

(社) 精密工学会 知的ナノ計測専門委員会

## 2006年度(第1回)総会 議事録(案)

日 時：2006年6月16日(金) 15:00～16:00

場 所：東京大学工学部2号館2階211教室

### 総 会

出席者：高谷(大阪大学)，宇田(大阪電気通信大学)，小森(京都大学)，高増(東京大学)，高橋(東京大学)，古谷(東京電機大学)，清野(東北大学)，高(東北大学)，閻(東北大学)，柳(長岡技術科学大学)，小倉(産業技術総合研究所)，黒澤(日本品質保証機構)，遠藤(福島県庁)，稲(キヤノン)，根岸(キヤノン)，越智(サムタク)，谷口(ソニーマニュファクチャリングシステム)，村木(中央精機)，寺尾(中央精機)，丸山(東京精密)，林(ナノ)，伊藤(ナノ)，坂本(ハイデンハイン)，藪谷(不二越)，沢辺(ミットヨ)，阿部(ミットヨ)，天沼(山武) 以上27名

### 配布資料：

- . 会則(案)
- . 役員(顧問および幹事等)リスト(案)
- . 2006年度事業計画(案)
- . 2006年度収支予算(案)
- . 参考資料
  - 1. 2006年度事業計画書(精密工学会へ提出したもの)
  - 2. 知的ナノ計測分科会 成果報告書
  - 3. 特別講演会および懇親会のご案内
  - 4. 秋季大会シンポジウム「製造現場を支える形状計測」
  - 5. 科学研究費 ナノスケール生産基盤におけるコア計測技術に関する企画調査
  - 6. 会員名簿(予定)および勧誘予定企業リスト(案)
  - 7. パンフレットのたたき台
  - 8. ホームページ([www.nano.pe.u-tokyo.ac.jp/nanomeasure/](http://www.nano.pe.u-tokyo.ac.jp/nanomeasure/))
  - 9. ISMT112007関連資料

### 内 容：

#### 1. 総会議事

##### 1. 開会

高谷裕浩委員(大阪大学)の司会のもと，開会が宣言された。

##### 2. 議事

###### 1) 委員長の選出

委員長として，高増潔委員(東京大学)の選出が承認された。

###### 2) 会則(案)の承認

高増委員長より、配布資料 に基づき、会則案の説明がなされた。委員会としての議論の結果、以下の訂正を施すことで、会則案の承認が確認された。

- ・ 誤字の訂正
- ・ 第6条（会員）に関して、「原則として」を追記する。

なお、関連して、法人会員の委員数の扱いについては、別途定めることを確認した。

3) 役員（顧問および幹事等）の指名

高増委員長より、役員案（配布資料 ）の説明があり、会則に基づき、以下の役員の選出が承認された。

|       |  |
|-------|--|
| 顧問：   | 清野慧（東北大学）<br>三好隆志（大阪大学）<br>沢辺雅二（ミットヨ）<br>下河辺明（東京工業大学）                                  |
| 幹事：   | 高谷裕浩（大阪大学）<br>高偉（東北大学）<br>笹島和幸（東京工業大学）<br>高辻利之（産業技術総合研究所）<br>古谷涼秋（東京電機大学）<br>高橋哲（東京大学） |
| 会計監事： | 林亮（ナノ）   |
| 事務局：  | 高橋哲（東京大学）  |

4) 2006 年度事業計画（案）の承認

高増委員長より、2006年度事業計画案（配布資料 ）の説明があり、承認された。

5) 2006 年度収支予算（案）の承認

高増委員長より、2006 年度収支予算案（配布資料 ）の説明があり、承認された。

6) その他

6 - 1) 2006年度精密工学会秋季大会シンポジウムについて

高増委員長により、宇都宮大学で開催される2006年度精密工学会秋季大会において、シンポジウム（テーマ「製造現場を支える形状計測」）を企画していることが紹介され、確認された。なお本シンポジウムは、メカノフォトニクス専門委員会との共同企画となり、本専門委員会関係者としては、高増委員長、阿部誠委員（ミットヨ）、根岸真人委員（キヤノン）の講演が予定（配布資料 - 4）されている。

6 - 2) 科学研究費「ナノスケール生産基盤におけるコア計測技術に関する企画調査」

高増委員長より、配布資料 - 5に基づき、科学研究費「ナノスケール生産基盤におけるコア計測技術に関する企画調査」の説明がなされた。そして、本企画調査

は本専門委員会と連携をとって進めることが確認された。関連して、2007年度科学研究費特定領域研究の新規発足研究領域への申請準備作業を進めることが承認された。

#### 6 - 3) ISMTII2007の報告

高偉委員（東北大学）より、配布資料 - 9に基づき、来年、仙台にて開催される国際会議ISMTII2007(The 8<sup>th</sup> International Symposium on Measurement Technology and Intelligent Instruments)の準備状況が報告された。本専門委員会として本国際会議を、バックアップしていくことが確認された。

なお、本会議に関する主要日程は以下のようになる。

|            |                  |
|------------|------------------|
| アブストラクト申込み | : 2007.2.1       |
| フルペーパー提出   | : 2007.4.15      |
| 会議日程       | : 2007.9.25 - 27 |

#### 4. 閉会

高増委員長により、総会の閉会が宣言された。

#### 2. 特別講演会 (16:00~18:00)

総会終了後、本専門委員会(精密工学会 知的ナノ計測専門委員会)の主催、科学研究費「ナノスケール生産基盤におけるコア計測技術に関する企画調査」の共催により、以下の特別講演会を行った。

##### 「知的ナノ計測の将来」

講師 東北大学 教授 清野 慧 先生

ハードウェアによって到達できた精度を超えるために、走査運動誤差と形状誤差を計算で分離する手段が必要になる。この数学的に構築される測定基準、ソフトウェアデータムについて、多くの具体例を基にご講演いただき、知的ナノ計測の将来像について展望いただいた。

##### 「ナノフォトニクスのもたらす光技術の質的変革と将来」

講師 東京大学 教授 大津 元一 先生

光技術の多機能化、大容量化は光の回折のために限界を迎えている。これを打破する革新技术であるナノフォトニクスについて、原理について概説いただくとともに、最新の応用例として、ナノ寸法の光デバイス、微細加工、システムへの適用についてご講演いただいた。

#### 3. 懇親会 (18:30~20:00)

総会・特別講演会終了後、懇親会を開催し、最新の知的ナノ計測に関する話題を中心に活発な意見交換がなされた。